

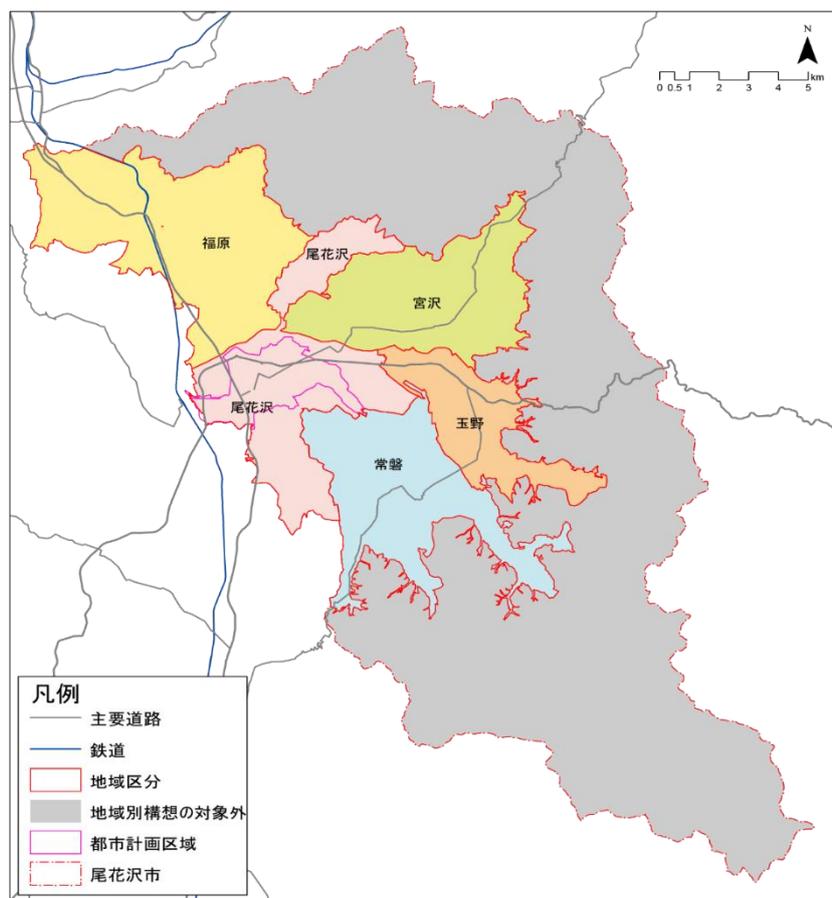
第5章 地域別構想

1. 地域別構想の考え方

(1) 本市の地域区分

尾花沢市は、昭和29年に尾花沢町、福原村、宮沢村、玉野村及び常盤村が合併し尾花沢町となり、その後昭和34年に市制移行してできた市であり、大きく5つの地域に区分されます。それぞれに多くの集落が点在し、地区ごとに特徴があり現在に至っていることから、地区毎のまちづくりの方針を示すことが重要です。

地域別構想では、各地区の特性と現況を整理し、全体構想を踏まえつつ、人口減少の時代にあっても各地区での暮らしを快適に維持できるよう、地区毎のまちづくりの方針を定めます。



地域区分図

(2) 地域別のまちづくりの考え方

地域別構想は、全体構想における市全体の将来都市構造等を踏まえて定めます。

全体構想では、市全体のまちづくりとして都市計画区域である尾花沢地区の中心市街地を中心に、各地域との交通ネットワークを形成することで、中心部と集落のアクセス性の確保を位置付けました。また、各地域の中でも集落同士をつなぐ交通ネットワークを維持することで、集落の生活を支える基盤を確保することとしました。

地域別構想では、それぞれの地区の現況と特性に合わせて、日常生活圏としての地域づくり（＝まちづくり）に向けた方針を、空き公共施設の有効活用や地域コミュニティーを支えるための地区公民館のコミュニティーセンター化の検討等多機能化の視点を盛り込みながら整理していきます。

(3) 地域別構想の構成

地域別構想は、以下の項目に沿って整理します。

項目		概要
現況整理	(1) 各地区の地勢と人口の推移	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の地形や人口推移の特徴について
	(2) 特性と現況	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の特性について ・各地区の現況について、以下の項目に沿って整理します。 ①主な施設と地域資源 主な公共施設や観光交流施設等の立地や機能連携について ②交通インフラ 交通（道路）のネットワークや、公共交通の状況について ③自然環境 地域で見られる自然環境について ④防災 想定される災害や危険な場所について



地域のまちづくりの方針	(3) 地域のまちづくりの目標と方針	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の特性と現況を踏まえ、地区毎のまちづくりの目標を定めます。 ・まちづくりの目標を達成するための、まちづくりの方針を定めます。
-------------	--------------------	---